

IV-215 都心繁華街に対する中高齢者の意識に関する一考察

近畿大学大学院 学生員 ○古田 宗久
 近畿大学理工学部 正 員 三星 昭宏
 近畿大学理工学部 正 員 高石 博之

1. はじめに

今日、高齢者の交通に関する都市整備は重要な問題である。特に都心繁華街においては、人の集中や都市自身の重層構造によって、この問題はますます深刻化している。本研究では図-1に示すような大阪都市圏を中心に、中高年者の都心繁華街への自由目的行動について述べている。使用したデータは、昭和61年に中高齢者を対象として行なったアンケート調査の結果である。

また一部に、昭和59年に大阪交通科学研究会高齢者班が高齢者対象に行なった調査結果を併せて用いている。なお、回答者はどちらも筆者らの属する大学の学生の近親者である。

2. 都心繁華街への外出実態

2-1 年齢層別外出率

娯楽や買物目的で都心繁華街へ1カ月に1回以上行くかという設問に対して、「行く」と答えた人の割合を年齢層別に示したのが図-2である。男性で70歳代、女性で60歳代まで外出率は高い割合でほぼ一定である。また、それ以上の高齢者でもかなりの割合が「行く」と答えている。高齢者においても都心繁華街での娯楽的な活動が、かなり行なわれているようである。

2-2 外出回数

次に、「行く」と答えた人の1カ月あたりに行く回数を、図-3のように年齢別に示す。どの年齢層においても、約4割から5割の人が1カ月に1回と答えている。また、1カ月に4回以上と答えている人は、各年齢層で2割前後している。特に、80歳以上の高齢者の回数が高いのも注目すべき点であろう。このように、娯楽や買物目的で都心繁華街「行く」回数は、多少変動があるものの、年齢による違いは少ないようである

2-3 外出同伴者

娯楽や買物目的で都心繁華街へ1カ月に1回以上行く人におもに誰と行くか設問してみた。図-4はその結果を示したものである。50歳以上で、1人で行く人の割合が、やや増えているようである。しかし、年齢層に関係なく約4割が家族と行くと答えており、友人と行くとを合わせると、全体の7割前後がだれかと一緒に行くようである。彼らが娯楽や買物目的で都心繁華街へ行くことは、高齢者のソシアビリティという点で大きな意味を持っていると思われる。

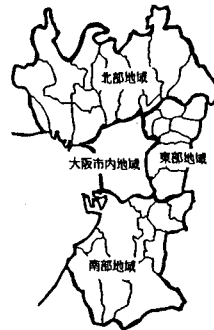


図-1 地域図

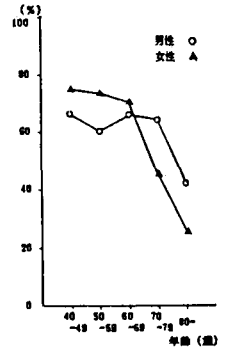


図-2 都心繁華街への年齢別外出率

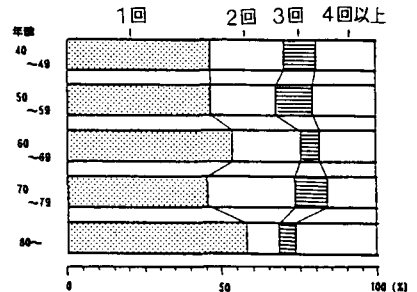


図-3 年齢別外出回数（1カ月あたり）

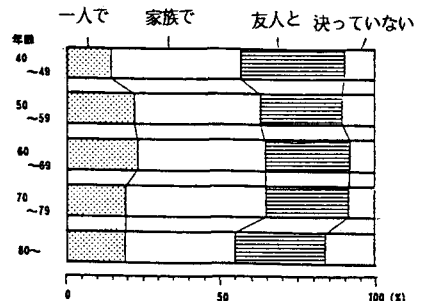


図-4 年齢別誰と行くか

3. 都心繁華街への外出希望

図-1に示すような各居住地域別に、都心繁華街である「大阪キタ」や「大阪ミナミ」へ「しばしば行きたい」と答えた人の割合をそれぞれ集計し、それを中高齢者別に示したのが図-5である。まず居住地域別に高齢者の外出希望を見ると北部地域では「大阪キタ」への希望が高く、大阪市内地域や東部地域、南部地域では「大阪ミナミ」への希望が高いようである。これらは、それぞれの都心繁華街への地理的な条件が大きく作用していると思われる。また、中高齢層別でみると、中年者（40～59歳）は全ての地域で「大阪キタ」へ、北部地域と南部地域では「大阪ミナミ」へも外出希望が高いようであり、活動範囲が広がっていることがわかる。これは、高齢者には「大阪ミナミ」のほうが「大阪キタ」より吸引力が強いことを示しており、両都心の性質が反映している。しかし、中年者の領域の広がりには繁華街の重要性和要求がより高くなることを示すように思われる

4. 年齢層別にみた都心繁華街へのイメージ

都心繁華街について、それぞれ「人が多い」、「居場所がない」、「階段が多い」、「道がわからない」の4つの項目について設問を行ない、図-6のように、「そう思う」と答えた人の割合をそれぞれ年齢別に示した。「人が多い」は、年齢層に関係無く高齢者だけに限る問題では無いようである。他の項目でも加齢と共に「そう思う」と答えている人の割合は増えているが、「人が多い」よりも加齢による増加は大きい。また、全ての項目について繁華街間の差をみてみると「大阪キタ」の方が「そう思う」と答えた人の割合が高いようである。

5. まとめ

高齢者の都心繁華街での娯楽活動は、現在でもかなり行なわれているようである。また、現在の高齢者に比べて中年者の都市繁華街に対する外出ニーズは高いようである。このことから、都心繁華街を利用する高齢者の数は、将来増えるものと思われる。しかしながら、現在の都心繁華街やそれに付随する都市設備は若年層を対象に計画されていることが多くこれは体力的にも衰え出した高齢者にとって、都心繁華街で活動するうえでなんらかの障害となるであろう。このような物理的問題についての抜本的改善が必要であろう。

参考文献

- ・ 吉田、三星、高石：中年層の交通に関する調査研究
昭和62年土木学会関西支部年講
- ・ 平田道憲：高齢者の都心の利用と意識に関する研究、
都市計画昭和60年論文集

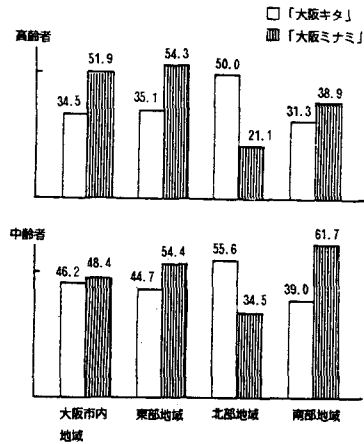


図-5 都心への居住地域別外出希望

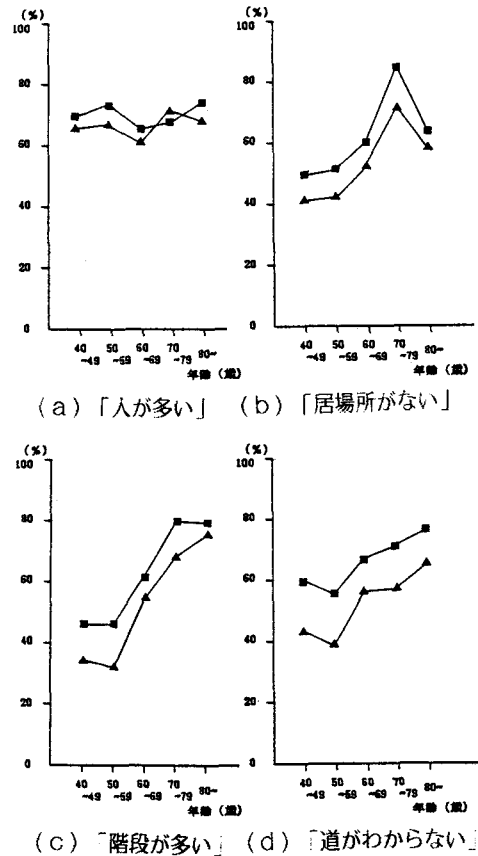


図-6 都心へのイメージ